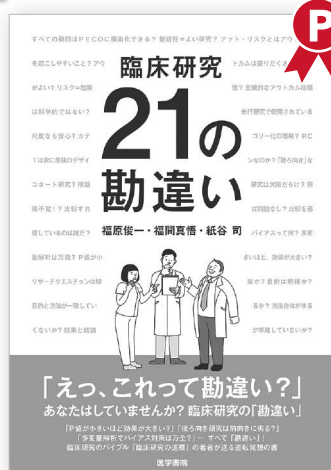


#医学書院の新刊

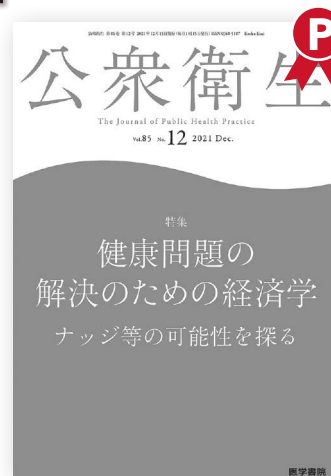
本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.130)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



臨床研究 21 の勘違い

福原俊一、福間真悟、紙谷 司＝著
定価 3,960 円／A5 判・256 頁／医学書院／2021

臨床研究はしくじりから学べ！ 臨床研究のしくじりは“勘違い”が原因だった!? 「P 値は小さいほどいい」「多変量解析は万能」など、ありがちな勘違いの具体例を使って、臨床研究の正しいお作法を京大チームが懇切丁寧に解説。なぜ臨床研究がうまくいかないのか？ この研究結果は本当に信頼できるのか？ なぜ論文がリジェクトされるのか？ そんな疑問に答える 1 冊。



『公衆衛生』2021 年 12 月号 (Vol.85 No.12) 健康問題の解決のための経済学 ナッジ等の可能性を探る

定価 2,640 円／B5 判・81 頁／医学書院／2021

米国のリチャード・セイラー氏が確立した「ナッジ理論」は、人々に対する働きかけ方、呼びかけ方、情報の提供の仕方を工夫することで、強制しなくてもそつとあと押しする (nudge: 肘でつつく) だけで、人々はより良い選択をすることを明らかにしたもの。ナッジ理論を使って健康づくり政策を実践し、がん検診の受診率が向上している自治体の事例も紹介。健康問題解決のためにナッジや行動経済学を用いてみませんか？